

教育・文化・スポーツ

**学力テストの活用と
教員の労働時間**



小林 史政 議員

全国学力テストの目的は、子どもたちの学力や学習状況を把握し、教職員とともに授業の改善を図ることと言われているが、学力テストの結果を学校現場でどのように活用されているのか。また、市教育委員会は、教職員の長時間労働の実態把握と職場環境改善のためにどのような対策を講じているのか尋ねる。

答

全国学力テストの活用については、結果に基づく実態把握、改善の取り組みの実践、改善状況の確認などを経て、学習内容の確実な定着につなげていく。また、教職員の超過勤務の実態については、平成28年度は月80時間以上が延べ224名である。教育委員会では、超過勤務削減のため、文書の発出の精選や定時退校日の設定などを行っている。



産業・経済・労働

**野岳湖のボートや
カヌー等の使用解禁を!**



北村 貴寿 議員

野岳湖は市民の財産であるため、もっと湖面を活用すべきである。ボート等の使用解禁や、安全に着水できる栈橋等の整備はできないのか。改修以前はペダルボート等で楽しむことができたが、現在は使用禁止である。全国の河川や湖面で水上レジャーが楽しまれている昨今、この禁止措置は野岳湖の魅力を半減させている。使用解禁と野岳湖水面の活用を求める。

答

野岳湖公園の活用について、野岳湖は農業用のため池であることから、湖面の親水性や安全性の確保ができていない状況である。自然環境を観光に生かすためには、安全面の確保が非常に重要であるが、先を見据えた積極的な湖面の活用について、キャンプ場のさらなる活用も含め、しっかりと協議を重ね、積極的に取り組みたい。

教育・文化・スポーツ

**小中学校の普通教室に
エアコンの設置を**



宮田 真美 議員

学校保健安全法には、学校環境衛生基準が定められているが、この基準で上限と定められている室温30度以上を記録した学校がある。これは、子どもたちの命にかかわる問題であり、早急に手を打たなくてはならない。小中学校の普通教室にエアコンを設置してほしいがどうか。

答

小中学校における熱さ対策については、教室への扇風機の設置を進めてきたが、対応には限界があると認識している。

このため、エアコンを設置することができないか、財源確保策も含め研究・検討を重ねたい。



教育・文化・スポーツ

**18歳選挙権の啓発と
主権者教育**



小林 史政 議員

「主権者は一人ひとりの国民であり、選挙を通じて自分の意思を反映させることができる」、このことを生徒一人ひとりへ熱心に伝えることができれば、若者の投票率は伸びると確信しているが、大村市は主権者教育をどのように考えているのか。また、学校現場での指導内容を尋ね、新たに作成された「選管だより」のさらなる活用を要望する。

答

主権者教育の一環として、今年度は小中学生を対象に子ども議会を開催した。また、模擬投票や出前講座などで10代に対する選挙啓発を引き続き実施する。学校現場では、小中高それぞれで児童生徒の発達段階に応じて、憲法や選挙、政治参加に関する教育が行われており、これらの確実な定着が主権者教育につながるものと考えている。